

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E142M007		家族関係学 (Family Relationships)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部			氏名 川田菜穂子, 齊藤友子 E-mail kawata@oita-u.ac.jp (川田), tsaito@oita-u.ac.jp (齊藤) 内線 7608 (川田),											
授業の概要	家族をめぐる様々な現象やその背後にある現代社会の状況について、具体的な事例を踏まえながら検討し、個人と社会をつなぐ関係性としての家族の側面を理解する。そのうえで、家族をめぐる諸問題に関わる演習課題に取り組むなかで、自分自身の生活設計上の問題と関連させながら考える。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 家族をめぐる現代的なトピックを説明できる。																	
目標2 家族にかかわる様々な課題に対し、自分の生活設計上の問題と結びつけることができる。																	
目標3 演習を通じた能動的な学びから、家族関係について経験的な側面から分析できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション																	
2 家族の歴史の変遷と欧米との比較																	
3 家族の多様性と社会																	
4 家庭と地域(保育施設等における家庭支援)																	
5 高齢期の家族関係と生活																	
6 演習 テーマ設定																	
7 演習 事例検討																	
8 演習 総合討議																	
9 家族関係に関する学習内容の検討																	
10 演習 家族関係に関する指導案・教材の検討																	
11 演習 発表・総合討議																	
12 家族関係と住まいに関する学習内容の検討																	
13 演習 家族・地域との関係を育む住まいの検討																	
14 演習 発表・総合討議																	
15 まとめ																	
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造					ワークシート、討議、グループワーク	工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	子どもを取り巻く社会や子育て支援におけるトピックについて事前に調べておく(7h)															
	事後学修	討議した内容についてまとめレポートを作成する(3h)															
教科書	教科書を指定しない。 授業資料を配布する。																
参考書	赤星礼子(編)『新版 生活経営学』(九州大学出版会、2013年)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	演習	40%															
	レポート	60%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	齊藤友子（児童相談所心理判定員及びカウンセラー）